

第2学年学級活動(2)指導案

日 時：令和〇年〇月〇日(〇)〇校時

学 級：第2学年〇組〇名

場 所：2年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

- 1 題材 「デジタルの手がかり」(出典：「デジタル・シティズンシップ+」を参考に改変)
学級活動(2) イ よりよい人間関係の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童の多くが配付された1人1台端末を比較的上手に使いこなすことができ、様々な教科学習の中で使ったり、時には1人1台端末を用いて学習を進めたいと自ら発言したりすることもあり、児童の身近な学習用具として定着しつつあるのが現状である。一方で、家庭への持ち帰りを前に、大人の目の届かないところでも自律して使用できることが期待されるため、一人でも上手に使えるためのスキルを身に付ける必要がある。

(2) 題材設定の理由

児童は、日常生活の中でデジタルツールを用いて、手軽にインターネット上の情報を得ることができる。しかし、当たり前のようにデジタル機器に触れている生活を過ごしており、リアルの世界とデジタルの世界の境界が曖昧になっている様子が見られる。そこで、本時の学習では、自己紹介を例に、学級で行う場合と、ホームページ上で行う場合での違いは、どのようなことなのかということやその違いについて考え、何に気を付けて伝えと良いのかを考えながら利用する態度を養う。

3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくして人間関係を形成しようとしている。

4 本時のねらい

オンライン上でやりとりをしたり、書き込みをしたりしていると、自分のことが特定されることがあることを知る。オンライン上に載せてもよい(共有してもよい)情報と載せるべきではない(共有するべきではない)情報を判断し、行動できるようにする。

5 本時のキーワード

- ・発信
インターネット等に、自分のこと（考えや思い）を表現すること
- ・個人情報
その人を特定する情報のこと

6 本時の展開

時間	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿
導入（つかむ）	1. 年度初めに書いた自己紹介カードを使って、自己紹介ゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○すきな食べ物、すきなスポーツ、習い事など、年度初めに書いた自己紹介カードを使いながら、誰のことを紹介しているのか」自己紹介ゲームをする。和気あいあいとした雰囲気を進める。 ○盛り上がったところで、自己紹介は、何のために行うのか、その目的についても考える。 	
展開（さぐる）	2. 自己紹介の内容をオンラインで発信してよいか吟味する。 （オンラインの説明） ・例えば、みんな家にいながら友だちとゲームで遊んだり、フレンド登録して話をしたり、YouTubeで動画を見たりしたことない？ああやってインターネットを使って、学校のホームページとかに、先生のことを紹介してもいいかな （ワークシート1）	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の発表内容に沿って、指導者が自己紹介をしていく。その後、もっと自分のことを知ってもらいたいという思いが強くなり、どのような方法で紹介するとよいか、児童に問いかける。 ○スマートフォンやタブレット、パソコンを使って自己紹介をしている人を見たことがないか、児童に尋ねたり、実際に学校のホームページを見せたりする。 	
はっしんしてよいか まよったら、どのように 行どうすると よいだろう			
	【発信】の言葉の定義を確認	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページに載せることを「発信」ということを伝える。 ○自己紹介で挙げた内容をオンラインで発信してよいか問いかける。 	

対話のポイント

・黄色の「まよう」を選んだのは、なぜ？

【個人情報】の言葉の定義を確認

(見つける)

3. 現実の世界で自己紹介を行う場合とデジタルの世界で行う場合には、何がちがうのかを

- ・名前
- ・自分の顔
- ・すんでいるところ
- ・すきなたべ物

○タブレットを使って、自己決定の判断を視覚的に相手に伝わるように、赤 ● 「発信してはいけない」 黄 ● 「まよう」 青 ● 「発信してよい」の表示を使い、自分の感情を発表できるようにする。

感情を確認

	発信してよい	まよう	発信してはいけない
名前			
自分の顔			
すんでいるところ			
すきなたべ物			

○「まよう」と判断した児童に、なぜ迷ったのか理由を尋ねる。

原因を特定

○上記のような判断を迷う児童については、自ら発信してよいか、悪いかを判断できるように理由付けを行う。

○インターネットで他の人に知らせてはいけないことは何かを考えることで、知らせてはいけない情報(個人が特定できる情報)と知らせてよい情報があることを理解できるようにする。

○現実の世界とデジタルの世界では、何がちがうのか、児童に問いかける。

対応を検討

	考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人が見る ・たくさんの人に見てもらえる ・自分の知らない人も見る ・自分の知らない人にも知ってもらえる 	
まとめ(決める)	<p>4. 本時のまとめをする。 (ワークシート)</p> <p>・インターネットで行動するときの三つの合言葉を確認する</p>	<p>○ワークシートの答え合わせを行う。</p> <p>○インターネットを使うと、たくさんの人に自分のことを知ってもらえるというよさを強調する。</p> <p>○インターネットで「自分のことで、ほかの人に知らせてはいけないこと」と「自分のことで、ほかの人に知らせてもよいこと」を書けるようにする。児童の実態に応じて、文でも絵でも表してよいこととする。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0f2f1; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">行動の準備</div> <p>○インターネットで行動するときは、「ひと休みする(立ち止まる)」「(どうすればいいか、安全かどうか)考える、「(困ったときは)大人に相談する」</p> <p>○学習後、家で今日の学習について話をし、文書をわたすように伝える。</p>	<p>振り返りに、自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践しようとしている内容を書いている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>